

ご挨拶

新緑の美しい季節となりました。生命の躍動を感じる春です。

平成22年度が始まりました。中央小学校は10名の新入学児童と2名の転校生を含め、全校児童58名（7学級）教職員11名で出発します。本校は本年度、学校教育目標を「ゆめ あこがれ そして挑戦！」と決めました。自分の将来に「ゆめ」や「あこがれ」を持ち、それを志に変え実現に向かって果敢に挑戦する児童を育てていきたいと思ひます。さて、本年度中央小学校は53年間の歴史を閉じることになりました。来るべき平成23年4月、旧甲山町内の3校（宇津戸、伊尾、東）と共に新生「せらひがし小学校」として出発いたします。歴史と伝統に育まれてきた中央小学校の閉校につきましては言いしれぬ寂しさがありますが、よきものを残しながら、新しい学校の創造に向け、子どもたち教職員と共に頑張っていきたいと思ひます。



子どもたちを取り巻く地域環境が大きく変わろうとしています。一つには学校統合であり、もう一つには高速道路尾道松江線の部分開通があります。生活圏が広がることにより、今まで以上に人や物、文化の交流が生まれます。交流を通して得られる多くの情報は、良きにつけ悪きにつけ多様な価値観や新しい人間関係を生み出すことにつながります。その中からよりよいと思われるもの、より自分にふさわしいもの納得のいくものを選び出し、切磋琢磨しながらたくましく生きていく子どもたちであってほしいと思ひます。

本年度は23年度新設校「せらひがし小学校」開校前年度となります。開校に向け学校基盤を盤石にしなければなりません。開校準備を計画的に進めると共に、知・徳・体の教育をバランスよく推し進め、基礎基本の力をしっかりとつけさせたいと思ひます。同時に組織力の向上に向け、人材育成も図らなくてはなりません。他の3校との連携はもとより、世羅町教育委員会、地域、保護者の皆さんと今まで以上に太いパイプをつなぎながら、今年度を乗り切りたいと考えています。

「足跡を残し、次に向かっての土台を創ろう」新学期始業式に子どもたちに語った言葉です。私たち教職員も「子どもたちを育てる」という足跡と土台をしっかりと残したいものです。

見事に学校を閉校し、新しい「せらひがし小学校の創造」に向けて前進です。1年間のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成22年 春

校長 松浦 ゆう子